

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

評価対象事業		評価者	都市整備総務課 保住 俊博
都整-02	実施事業	下水道運営事業(特別会計)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
		主管課	都市整備総務課
		関連課	道水路管理課
総合計画上の位置付け	分野	施策の方針	下水道の整備・管理

1 事業の目的

対象	部内各課
意図	事務事業の進行管理及び連絡調整を行い、円滑な執行を行うため。
効果	事務事業の円滑な執行を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道経営戦略策定に向け、下水道事業運営審議会の開催を行った。 ・下水道事業に係る郵便料や保険料、各種負担金など運営に係る庶務を行った。 ・下水道事業に地方公営企業法の一部(財務規程)を適用し、公営企業会計制度に基づく経理事務を行った。 ・地方公営企業法(財務規程)の適用に伴い、庁内関係各課との調整、下水道事業に係る取扱金融機関との調整等の事務を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口		・各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数		
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	117,168	85,892	当初予算(千円)	
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	111,280		その他	
	一般財源	5,888	85,892	一般財源	
	人員配置数	3.5	4.5	人員配置数	
事業経費運営	総事業費(千円)	144,523	122,148	総事業費(千円)	
	市民1人当りの経費(円)	820	692	市民1人当りの経費(円)	
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	
人件費(千円)	27,355	36,256	人件費(千円)	0	
人員配置数			人員配置数		会計年度任用職員配置数

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 下水道 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
		第4期基本計画実施計画において下水道事業会計に係る予算については、公営企業会計に移行したことからすべての事業を「下水道事業」に統合した。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	事業費の削減については、平成31年(2019年)4月から、地方公営企業法の一部(財務規定)を適用したことで、移行支援業務が終了した。今後は、企業会計事務に必要な会計システムの賃借料等が必要であるが、事務を遂行する上で必要不可欠な業務であり削減の余地はないと考えている。 当該事業は、公営企業会計制度に基づく下水道事業を、適切に運営する上で必要な、経理事務等の基幹であり、廃止、休止はできない。また、下水道事業運営審議会の運営や会計事務等、今後も市で実施する必要があり、協働にはなじまないものと考えている。 公平性については、下水道事業用地等の賃借料(占用料)を受業者(占有者)に求めているが、下水道使用料をはじめとする料金等が下水道事業の運営に対して妥当であるかについては、審議会の意見も参考にしながら検討していく。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 地方公営企業会計の制度に則り、会計処理を適切、的確に進めることが必要であるが、本市では下水道事業が初の公営企業会計制度を適用した事業であることから、公営企業会計制度の運用に長けた職員の育成が今後の課題である。 令和2年度末までに鎌倉市公共下水道経営戦略を策定する必要があることから、下水道事業運営審議会を開催し審議を開始する必要があるが、下水道の経営を専門とする学識経験者等が少なく審議会を開催するにあたり委員選考が最初の大きな課題である。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 法適用後の事務の役割に従い、関連課と協力し会計事務を行った。また、公営企業会計システムの運用委託先等と連携し、公営企業会計制度への造詣を深めた。 委員選考においては、下水道事業に知見を有する者、公営企業会計制度で先行する水道事業者等に審議会委員を委嘱することができた。また、水道事業運営審議会を開催し、令和2年度末に鎌倉市公共下水道経営戦略を策定するために必要な審議を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	国は、「経営戦略策定ガイドライン」を示し、各地方公共団体に対して「経営戦略」策定を要請している。本市においても令和2年度末までに経営戦略の策定を行う必要があるが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、今後の審議会開催が定期的に開催できない可能性もあり、感染予防の観点から審議会を開催できなくなった場合の対応方法等が新たな課題となっている。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	地方公営企業法を適用している自治体									
団体名	鎌倉市	横須賀市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	秦野市	座間市	海老名市	
他市実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

比較事項	地方公営企業法を適用している自治体									
団体名	南足柄市	逗子市	伊勢原市	綾瀬市	三浦市	厚木市	大和市			
他市実績	○	○	○	×	×	×	×			
				R2(予定)	R2(予定)	R2(予定)	R2(予定)			

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	法適用に向けた取り組み						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
法適用に向けた取り組み H26～H27 基本計画策定 H28～H29 固定資産調査及びシステムの導入 H30 予算等最終調整	目標値	10.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0				
	実績値	10.0	15.0	40.0	60.0	80.0	100.0				
	達成率	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				

指標の内容	経営戦略の策定						単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
国は、「経営戦略策定ガイドライン」を示し、各地方公共団体に対して「経営戦略」策定を要請している。	目標値	-	-	-	-	-	10.0				経営戦略の策定は令和2年度末を予定
	実績値	-	-	-	-	-	30.0				
	達成率	-	-	-	-	-	30.0%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--